花貫渓谷利活用・整備基本構想【概要版】

◆基本構想の目的

花貫渓谷は秋の紅葉シーズンに観光客が集中する状況で、また通過型の観光が主であるため、年間を通じた集客の実現、滞在してもらい消費をしてもらえるような仕組みづくりが今後の課題となっています。そこで、これら課題を解決し、交流人口と観光消費の拡大による山間地域の活性化を図ることを目的に本構想を策定します。

◆整備・対策の2つのアプローチ

花貫渓谷エリアの利活用促進、および集客力向上に向け、自然景勝地としての魅力アップとともに、アウトドアフィールドとしての機能・発信力強化に取り組みます。

◆ "自然景勝地" 花貫渓谷 の磨き上げ・魅力向上

<期待される効果> 満足度向上等による来訪者・リピーター増、観光消費拡大

<整備・対策の方向性>

1) 来訪者の利便性の向上

花貫渓谷に訪れる来訪者が、より訪れやすく快適に観光を楽しめるようにするための整備や対策を実施します。

整備 対策

- ・市道の歩行者専用道(遊歩道)化
- ・紅葉まつり期間中等における有料カートの運行、小型モビリティ貸出サービスの導入
- ・中間サイトにおける駐車場・トイレ・公衆無線 LAN 整備

2) 渓谷景観の整備・高質化と景観を楽しめる場づくり

花貫渓谷の景観をより向上させるとともに、渓谷の美しい景観を楽しめる場を創出します。

整備

- ・市道沿いの景観支障木の伐採・管理とモミジ等の植栽
- ・市道の歩行者専用道(遊歩道)化に併せた舗装や転落防止柵の美装化
- ・中間サイト前(渓谷側)における展望デッキ(オープンカフェスペース)の整備
- ・中間サイト前~汐見滝吊り橋間における渓谷沿い遊歩道の整備
- ・乙女滝・不動滝へのアプローチの改良と展望デッキ(川床デッキ)の整備

3)滞在化の促進(自然観賞以外の楽しみの付加)

花貫渓谷により長く滞在してもらい、観光消費の拡大につなげるため、自然観賞以外の楽しみや飲食・物販等のサービスを提供できる場づくりを行います。

整備 対策

- ・中間サイトへのカフェ・軽食提供・物販機能の導入
- ・中間サイトにおける多目的屋内スペースの整備

4) ピーク (渋滞) 対策等

紅葉まつり期間中の渋滞対策を行うとともに、秋季以外の集客を目指したイベント等を開催します。

整備

- ・パーク&ライド実証実験の実施
- ・ゴールデンウィーク期間中の新緑まつり(アウトドアイベント)等の開催







◆ アウトドアフィールド花貫 の創造・機能強化

<期待される効果> 新たな客層の獲得、観光の通年化、観光消費拡大

<整備・対策の方向性>

1) 花貫渓谷エリアのセンター・ゲート機能の強化(花貫ふるさと自然公園)

花貫渓谷エリアの入口に位置する花貫ふるさと自然公園を当該エリアのセンター施設として位置付け、機能強化を図ります。

整備対策

・「アウトドアフィールド花貫」のセンター・ゲートとしての施設整備

2) キャンプエリアとしての質向上と発信

花貫渓谷エリアに立地する3つのキャンプ場の連携を強化し、効率的な運営と情報発信を行うととも に、サービス面を強化します。



- ・小滝沢キャンプ場の有料化(必要に応じた簡易な管理施設の整備)
- **整備**・3箇所のキャンプ場の「花貫キャンプエリア」としての効率的な一括管理体制の構築
- 対策・花ふるキャンプ場の必要なキャンプサイト・トイレ整備
 - ・事前予約による BBQ 食材提供サービスの導入

3)川、ダム湖、花貫駐車場等のアウトドアフィールドとしての活用

多様なアクティビティの導入を図るとともに、定期的なアウトドアイベントを開催します。



・花貫ダムの湖面等を活用したアクティビティ導入に関する管理者への働きかけ

対策 ・花貫駐車場等における定期的なアウトドア体験イベントの開催

4) ロングトレイルコースとしての土岳登山道の有効活用と発信

ガイドツアーの実施や「映えスポット」に関する情報発信など、ロングトレイルコースとしての土岳 登山道の有効活用を図ります。



- ・ガイドの育成・体制づくりとガイドツアーの実施
- ・「映えスポット」の抽出・ネーミングと発信、スポット表示の設置
- ・県北地域の市町と連携したロングトレイルコースの PR・プロモーション

